

授業科目	保育実習Ⅲ			単位	2			
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31629J		
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子、山根 正夫							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>児童福祉施設において養護を実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。子ども一人ひとりの特性を理解して対応すること、保育指導案や援助計画の立案などを実践する。子どもと家庭のニーズを理解しそれに対応する能力、子どもと家庭を支援するために必要とされる能力について学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等の実践において、保育士に求められる技術を習得する。 2. 子ども一人ひとりの特性やニーズを理解し、適切に対応する方法を実践する。 3. 子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。 4. 実習記録を適切に作成する。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	50	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5	5	10	
思考・判断 (DP2-2)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-1)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)					5	5	10	
態度 (DP4-1)					5	5	10	
態度 (DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-1)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-2)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設において、保育士に求められる技術を習得し、実践することができる。 2. 子ども一人ひとりの特性やニーズを理解し、適切に対応する方法を実践できる。 3. 子どもの最善の利益を具体化する方法について理解し実践することができる。 4. 実習においてポイントとなる部分をとらえ、実習記録を適切に作成することができる。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設において保育士に求められる技術を実践している。 2. 子ども一人ひとりの特性やニーズに適切に対応する方法を教わりつつ、実践している。 3. 子どもの最善の利益を具体化する方法を理解している。 4. 実習記録の記述が適切である。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 				

6. 実習の中で自己の課題を明確にし、その改善に向けた努力を行っている。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>1. 実習施設は、乳児院、児童養護施設、障害児施設等の児童福祉施設のうち、大学が実習施設として指定する施設とする。なお、実習先は実習担当教員間の協議により、大学側で決定する。</p> <p>2. 実習期間は10日間とし、原則として8月～10月の間に実施する。</p> <p>3. 実習の目的、実習内容および必要書類の作成、事前学習などについては「実習指導Ⅲ」の授業で説明する。</p> <p>※実習の準備状況(事前学習、健康状態など)によっては、実習を履修できない場合もある。また、実習開始後も実習生として不適切な行動があった場合は実習を取りやめにする</p>	実習	事前学習を行い、実習で必要となる知識と技術について確認しておくこと。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの授業で学んだ内容や保育実習指導3での事前学習内容を振り返り、保育士に求められる知識と技術、実習生としてふさわしい態度を身につけて実習に臨みましょう。			
テキスト	基本保育シリーズ 20「保育実習」 公益財団法人 児童育成協会監修 中央法規 出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「保育士のための福祉施設実習ハンドブック」 小野澤昇・田中利則 編著 ミネルヴァ書房			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習中の気づきや学びはメモに残しておきましょう。事前学習ファイルを活用して、考察を深めましょう。			
達成度評価に関するコメント	「レポート外の提出物」として実習日誌の記述内容について評価し、「その他」として実習先からの評価により評価します			